

令和4年1月18日

東部農林水産振興センター出雲事務所農業部

標 題	斐川町集落営農組合連絡協議会主催の「集落営農次世代意見交換会」が開催される
-----	---------------------------------------

(ダイジェスト)

J Aしまね斐川町集落営農組合連絡協議会は、1月15日(土)、J A斐川地区本部営農総合センターにおいて、「集落営農次世代意見交換会」を開催しました。各組合へのアンケート調査の中で、多くの組合で「次世代への組織継承」が大きな課題となっていることから、「若手組合員」の「仲間づくり」「意欲向上」を図るため、意見交換会を開催しました。

J Aしまね斐川町集落営農組合連絡協議会主催の「集落営農次世代意見交換会」が、1月15日(土)、J A斐川地区本部営農総合センターにおいて開催され、16組合から24名の「若手」の出席がありました。各組合へのアンケートでは「次世代への組織継承」が大きな課題となっていることから、次代の集落営農を担い地域を支えていく後継者が他組織の取り組みを知り、同世代の仲間と知り合う機会を設けることで、営農参加への意欲をより一層高めてもらうため、今回、開催することとしました。

意見交換の中心となったテーマは「専従者」で、3つに分かれたグループワークでは、実際に専従者として働いている参加者から専従になった経過や仕事の様子を聞き、専従となる場合の条件等について意見交換されました。報酬としては350万円程度が必要ということでしたが、組合員として従事分量配当を受ける場合は、収入が不安定であることや国保料などの負担で実質的な収入が少なくなるという実態も紹介されました。



【自己紹介をする参加者】

参加者は30から60歳代と年齢が幅広く、営農組合での役割も営農部長からオペレーターと様々でしたが、他の営農組合の同年代と話す機会がこれまでなかったことから、お互いの組合の様子を和気あいあいと話し合っていました。協議会の江角会長は、「この会で知り合ったことは今後の財産になる」と語り、参加した協議会役員や関係機関は、来年度も是非開催しよう確認し合いました。

参加者は30から60歳代と年齢が幅広く、営農組合での役割も営農部長からオペレーターと様々でしたが、他の営農組合の同年代と話す機会がこれまでなかったことから、お互いの組合の様子を和気あいあいと話し合っていました。協議会の江角会長は、「この会で知り合ったことは今後の財産になる」と語り、参加した協議会役員や関係機関は、来年度も是非開催しよう確認し合いました。

農業部では、市、J Aと連携して「意見交換会」企画を支援するとともに、今回の話し合いの中で「専従配置」の状況が把握できたことから、個々の営農組合への支援も行い、集落営農組織の次世代継承を進めていきます。